

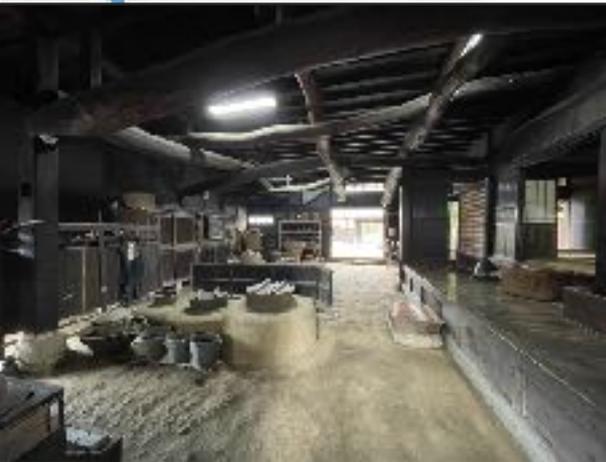
江戸時代後期に建てられた建築物で、敷地内には母屋・長屋門・一の蔵・二の蔵などが建ち、散策用に整備された日本庭園も目にできます。

屋根は寄棟造で茅葺屋根ですが、今は波形鉄板を被せてあります。

軒先に水平に腕木を出し天上を貼る「せがづくり」と呼ばれる手法で、当時、一般階級では禁止されていた建築様式です。一の蔵、二の蔵も同じ頃の建築と推測されています。

座敷正面には式台玄関(高身分の客人を迎える正式な玄関)があります。

室内は豪農の家を象徴する田造りの間取りで、柿渋で仕上げられた建具などに風情を感じます。



つくばみらい市 三百石を考える

結城家は鎌倉時代初期の朝光公を始祖とする名族であり、江戸時代初期に当地に帰農して以来「結城三百石」と称され地方開発の中心的役割を担ってきました。郷土の発展を願って当家から寄付された屋敷をつくばみらい市では保存活用し、建物と周辺環境を整備して、市民利用施設として、広く公開することを目的としています。そんな歴史と伝統の文化を持つ結城三百石を我々建築士がともに考えるワークショップという意見交換会を開催致します。

まちづくりに関心のある方はお気軽にご参加ください。

日時 2024年12月8日(日)開始10:00~16:00

視察会場 つくばみらい市結城三百石記念館

駐車場 記念館隣接地に予定

W.S.会場 みらい平市民センター

駐車場 満車の場合は近くのコインPを利用してください

参加費 500円(昼食、飲物付)

申込み (一社)茨城県建築士会事務局

Tel/Fax 029-305-0329 / 029-305-0330

E-mail kyy05413@nifty.com

定員 50名(定員になり次第締切)

締切 11月20日

主催 (一社)茨城県建築士会まちづくり委員会+筑波支部

後援 つくばみらい市

住所 氏名

Tel Fax

Mail 所属支部等